



- 1 前半の自動終了合図があった。すぐにレフェリーは、前半が 1 分早く終了したことに気づいた。
- (a) 後半を 1 分間延長する
 - (b) この 1 分間を無効とし、補わない
 - (c) 休憩時間の終了後に、前半と同じサイドで 1 分間競技を行い、それからサイドを交代して通常どおり後半を開始する
 - (d) プレーヤーをコートにとどまらせ、残りの 1 分間競技をさせる
- 2 前半の終了直前に、白チームの 9 番が 7 m スローを行った。白チーム 9 番が投げたボールはクロスバーに当たり、ゴールの手前およそ 3 m のところに立っているゴールキーパーの背中に当たった。その後、黒チームのゴールの中へ入った。ボールがクロスバーからゴールキーパーの背中へと向かう途中に、自動終了の合図があった。
- (a) 得点
 - (b) 7 m スローを再度実施
 - (c) 休憩時間（判定しない）
- 3 前半の終了直前に白チームの 7 番は、黒チームの 5 番への暴力行為により明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に、自動終了の合図があった。
- (a) 前半の終了とし、白チームの 7 番に罰則は適用しない
 - (b) 前半の終了とし、7 m スローやフリースローを行わない
 - (c) レフェリーは、白チームの 7 番にレッドカードとブルーカードを示し、報告書を伴う失格とする
 - (d) 黒チームの 7 m スローとする
 - (e) レフェリーは、白チームの 7 番にレッドカードを示し、失格とする

- 4 後半が終了し 20 対 20 の同点であった。勝敗を決定しなければならない場合、どのような方法で競技を続けるか。
- (a) 1 分間の休憩時間の後に、延長戦を開始
 - (b) 5 分間の休憩時間の後に、延長戦を開始
 - (c) 延長戦、前後半の間の休憩時間は 1 分間
 - (d) 延長戦、前後半の間の休憩時間は 5 分間
- 5 7 m スローコンテストの参加資格について、正しい記述はどれか。
- (a) 記録用紙に記載のある、すべてのプレーヤーが参加できる
 - (b) 失格となったプレーヤーは参加できない
 - (c) 延長戦が終了したとき、2 分間退場中のプレーヤーは参加できない
 - (d) レフェリーの許可を得たプレーヤーが参加できる
- 6 前半の競技終了の合図の後にフリースローを行う場合、どのプレーヤーが交代できるか。
- (a) 両チームのすべてのプレーヤー
 - (b) 防御側チームのプレーヤーのみ
 - (c) 攻撃側チームのプレーヤーのみ
 - (d) 攻撃側チームの 1 名のプレーヤーだけ
 - (e) 終了の合図のとき、防御側チームのゴールキーパーが不在の場合、1 名のコートプレーヤーとゴールキーパーが交代できる
- 7 白チームがボールを所持していた。黒チームのチーム役員 C は、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いてチームタイムアウトを請求した。
- (a) グリーンカードを机の上に立てておく
 - (b) 黒チームがボールを所持したら、タイムキーパーは直ちに笛を吹く
 - (c) タイムキーパーは、グリーンカードをチーム役員に返す
 - (d) チーム責任者だけが、チームタイムアウトを請求できる

8 前半が1分早く終了した。そのとき競技規則に違反はなく、ボールはゴールエリア上空にあった。終了の合図の後、ボールはアウトラインを通過してコート外へ出た。両チームのプレイヤーは、まだコート内に残っていた。

- (a) その1分は、実施しない
- (b) その1分は、休憩時間の前に実施する
- (c) その1分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する
- (d) その1分は、後半の競技時間に付加する
- (e) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する
- (f) ゴールキーパーで競技を再開する

9 第2延長の後半3分00秒に、白チームの7番は2分間退場となった。その後、競技は同点のまま終了し、規定により7mスローコンテストを実施することになった。白チームのチーム役員は、自チームの7番を7mスローコンテストに指名し、7番はシュートを決めた。

- (a) 白チーム7番の参加は認められるため、得点は有効である
- (b) 白チーム7番の参加は認められず、得点は無効である
- (c) このシュートは外したものとしてカウントする
- (d) 白チーム7番を、失格とする

10 白チームの4番は、コート上で治療を受けていた。治療を受けた後、白チームの4番はコートから出なければならず、自チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる。(白チームの4番がコートを出て)白チームの2回目の攻撃終了後に、白チームのチーム役員Aは、防御だけを行わせるために白チームの6番と交代で、白チームの4番をコートに入れた。

- (a) 白の4番の防御活動は許されるので、競技をそのまま続行
- (b) 入場可能になる前にコートに入ったため、白チームの4番を警告とする
- (c) 入場可能になる前にコートに入ったため、白チームの4番を2分間の退場とする

11 白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 9 番はシュートを打った。黒チームのゴールキーパー 12 番がシュートを止め、ボールがゴールエリア内を転がっているときに、タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いた。

- (a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない
- (b) 白チームのチームタイムアウト
- (c) 白チームにグリーンカードを返す
- (d) 黒チームのゴールキーパー스로ーで競技を再開
- (e) 白チームのフリースローで競技を再開
- (f) 黒チームのフリースローで競技を再開

12 黒チームの 2 番はシュートを打った後、脚を負傷したため白チームのゴールエリア内に倒れ、治療を要求した。ちょうどそのとき白チームは、クイックスローオフを開始した。

- (a) レフェリーはジェスチャー 15 と 16 を示し直ちに競技を中断し、黒チームの 2 番への治療行為のため、黒チームに入場許可を与える
- (b) レフェリーは白チームの速攻の結果を待って競技を中断し、黒チームの 2 番への治療行為のため、黒チームに入場許可を与える

13 レフェリーが白チームに、黒チームのフリースローラインからのフリースローを与えた。その直後にタイムキーパーが笛を吹き、時計を止めた。レフェリーが競技中断の理由を尋ねると、タイムキーパーは「白チームの 9 番が不正交代をした」と答えた。

- (a) 黒チームのフリースローラインに沿って、白チームのフリースロー
- (b) 黒チームのフリースローラインに沿って、黒チームのフリースロー
- (c) 白チームの交代地域前から、黒チームのフリースロー
- (d) 白チームの 9 番を、2 分間退場とする

14 白チームが得点した。レフェリーはまだスローオフの笛を吹いていなかったが、黒チームの10番は、黒チームの6番がコートから出る前に、不正にコートの中に入った。

- (a) スローオフ
- (b) 白チームのフリースロー
- (c) 黒チームの10番を、2分間退場
- (d) 黒チームの6番を、2分間退場

15 白チームのゴールキーパー1番がシュートを止め、ボールは白チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた白チームの5番がコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に白チームの4番はボールを所持することができた。

- (a) 相手チームのフリースロー
- (b) 相手チームのスローイン
- (c) 白チームの5番を、2分間退場とする
- (d) (レフェリーはレッドカードを示し) 白チームの5番を、失格とする
- (e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2分間1名減らす

16 競技の開始時間になっても黒チームは5名のコートプレーヤーしか到着しておらず、ゴールキーパーはいなかった。黒チームはコートプレーヤー5番をゴールキーパーとして指名した。黒チームの5番は、その後どうなるか。

- (a) 正しく交代すれば、いつでも黒チームの5番はコートプレーヤーとして出場できる
- (b) もはや黒チームの5番は、コートプレーヤーとして出場できない
- (c) 相手チームのチーム役員が了承すれば、黒チームの5番はコートプレーヤーとして出場できる
- (d) 正規のゴールキーパーが到着すれば直ぐに、黒チームの5番はコートプレーヤーとして出場できる

17 計時が疑わしいとき、誰が正確な時間を決定するか。

- (a) タイムキーパーとスコアキーパー
- (b) 両レフェリーが協議して決定
- (c) タイムキーパーが決定
- (d) 両レフェリーとタイムキーパーが協議して決定

18 白チームの2番は、負傷したためコート上で治療を受けた。(白チームの2番がコートを出て)1回目の攻撃中に、前半が終了した。レフェリーが後半開始の笛を吹いたとき、白チームの2番はコート上にいた。

- (a) タイムキーパーは直ちに競技を中断し、違反があったことをレフェリーに知らせる
- (b) 白チームの2番を、2分間退場とする
- (c) そのまま競技を続行
- (d) 交代地域前から、相手チームのフリースロー
- (e) 白チームの2番はコートから出なければならないが、罰則は不要。白チームのボールで競技を続行(タイムキーパー・TOのミスである)

19 白チームの5番は黒チームのゴールキーパー1番に対してノーマークの状態となり、明らかな得点チャンスを得た。白チームの5番がシュートを打とうとした瞬間に、黒チームの9番がコートを出る前に黒チームの11番が不正にコート内に入ったため、タイムキーパーは笛を吹いた。

- (a) 黒チームの11番を、2分間退場
- (b) (レフェリーはレッドカードとブルーカードを示し)黒チームの11番は、報告書を伴う失格
- (c) 白チームのフリースロー
- (d) 白チームの7mスロー
- (e) タイムキーパーは、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、不正入場を知らせるための笛の合図は待つべきであった

20 競技終了 10 秒前、スコアは 29 対 29 であった。白チームのゴールキーパー 12 番はゴールキーパーズローを実施し、白チームの 11 番にパスをした。パスを受けた白チームの 11 番は、黒チームのゴールエリアライン近くでノーマークの状態にある白チームの 9 番を見つけた。白チームの 11 番は、白チームの 9 番にパスをした。パスを受け取った白チームの 9 番がシュートを打つ前に、TO が競技を中断し、「黒チームの 4 番がコートから出るよりも先に、黒チームの 2 番がコート内に入った」と説明した。

- (a) タイムアウト
- (b) 白チームのフリースロー
- (c) 白チームの 7 m スロー
- (d) 黒チームの 2 番を、2 分間退場とする
- (e) (レッドカードを示し) 黒チームの 2 番を、報告書を伴わない失格とする
- (f) TO は、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、競技の中断は待つべきであった

21 黒チームの 9 番は、速攻で走っていた黒チームの 10 番にパスを出した。その直後、黒チームの 9 番は、白チームの 11 番によって引き倒された。さらに黒チームの 10 番は、ボールをキャッチした際に転倒し、負傷した。

- (a) 白チーム 11 番を、警告とする
- (b) 白チーム 11 番を、2 分間の退場とする
- (c) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち黒チームの 2 名が、黒チーム 10 番に対するコート上での治療行為のため、コート内へ入場できる
- (d) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、そのまま競技を続けることができる
- (e) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、白チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻るができる
- (f) タイムアウト

2 2 黒チームの 2 番が違反をした。コートレフェリーは、黒チームの 2 番を失格（レッドカードを示す）とし、フリースローだと判断した。ゴールレフェリーは黒チームの 2 番に対し、2 分間退場と 7 m スローだと判断した。黒チームの 2 番への罰則と再開方法はどれか。

- (a) 協議が合意に至らなかった場合、黒チームの 2 番を、2 分間退場
- (b) 協議が合意に至らなかった場合、黒チームの 2 番を、失格（レッドカード）
- (c) 協議が合意に至らなかった場合、フリースロー
- (d) 協議が合意に至らなかった場合、7 m スロー
- (e) 両レフェリーは、協議が合意となるよう努めなければならない

2 3 黒チームの攻撃で、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。2 回目のパスの後、黒チームのチーム役員 A がチームタイムアウトの請求をしたため、TO は笛を吹いた。両レフェリーとプレーヤーはこの笛の合図に気づかず、競技は続いた。4 回目のパスで、明らかな得点チャンスを得ている黒チームのウィングプレーヤーに渡った。ウィングプレーヤーは、ジャンプシュートを打つ際に白チームの 4 番によって押されたため、身体の一部のコントロールを失い、シュートはゴールキーパーに止められた。ここでようやくレフェリーとプレーヤーは、チームタイムアウトの請求により TO がすでに競技を中断していたことに気づいた。レフェリーの正しい判定はどれか。

- (a) 黒チームのチームタイムアウト
- (b) 黒チームのフリースローで競技を再開
- (c) 黒チームの 7 m スローで競技を再開
- (d) 白チーム 4 番を、2 分間退場とする
- (e) 罰則は不要
- (f) パッシブプレーの予告合図はまだ有効であり、黒チームは 2 回のパスが完了している
- (g) パッシブプレーの予告合図はまだ有効であり、黒チームは 4 回のパスが完了している
- (h) 白チームの 4 番が 2 分間退場となったため、パッシブプレーの予告合図は取り消される

24 黒チームのフリースローライン付近で、白チームがボールを所持していた。TO は競技を中断し、黒チームのチーム役員 A から侮辱されたとレフェリーに説明した。

- (a) 黒チームのチーム役員 A を注意し、報告書を作成する
- (b) 黒チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）
- (c) 黒チームの交代地域の前から、白チームのフリースローで競技を再開する
- (d) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースローで競技を再開する

25 白チームのチーム役員 A はベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員 A は交代地域を離れ観客席に移動し、そこからレフェリーの判定に抗議し続けた。

- (a) 何もできない
- (b) 白チームのチーム役員 A を、2 分間退場
- (c) 白チームのチーム役員 A を、失格とする（レッドカードを示す）
- (d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）
- (e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

26 【本問題は記述式での解答となります】

両レフェリーによる協議中や負傷者の対応中、モップなどを使用したコートコンディションの整備中、あるいはレフェリーが VR（ビデオ判定システム）を使用しているなど、競技が一定時間中断している際に、TO として行うべき重要な任務は何か、答えなさい。

※ 自由記述とし、文字数の制限はありません。

※ 解答は、解答用紙裏面に記入してください。